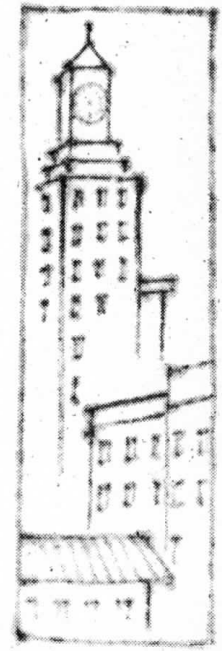


を通して呼吸してゐるので殆ど聲が出ず、おまけに此の呼吸管が屢々塞がつて息の絶える様な苦をする事がある。又癩性浸潤の爲に皮膚の感覚は麻痺して物に觸つても充分解らない、又顔や手足に潰瘍がしばしば出来てゐて、膏藥と繻帶とで覆はれてゐる。ヘレンケラーより耳が少し聞えるがその代り身體の不自由さは比較にならない程甚しい。更に其の環境の恵まれざるを思へば、彼の苦惱はむしろヘレンケラー以上であると云ひたい。島田君が歌を発表する時はベットの白布の上に指で字の形を示すか、或は喉頭の調子の良い時には息の漏るゝ呼吸器管に指を當てゝ之を塞ぎ少しばかり上の方の口の方から空氣を出して、肥厚して居る聲帯によりかすかに音となる聲で字意を傳へてゐる。此の困難は普通人の到底想像も及ばない事であり、結核の床に居られる人などを勵ますに足るものと思ふ。』

「窓あくれば流り入り来る朝霧の熱の額にふれて消ゆるも」「窓外の櫻の花の見ゆる朝はうれしくなりて茶をのみにけり」最後の歌は視力の衰へを嘆くうちの一首である。世間との唯一本の交通路である歌、その歌の印刷物を讀むことが出来なくなり、又あれば眞剣に觀入つて居る自然の色と形と動きとを見ることが出来なくなることは何と云ふ不幸な事であらう。此の間九州療養所を訪ねた折、尺草君の眼が段々悪くなると云ふ話を内田君から聞いて、つい迂潤にも點字の稽古などをして見たらどうであらうと馬鹿馬鹿しい思ひつきを云ひ出して自分で恥づかしくなつたのであつた。知覺の大方は麻痺してゐる本病患者にどうして點字を教へられやう。又假に出来たとしても盲ひたる歌人の苦惱は僅かな指頭の點讀位で補はるべきものでもないのである。十六歳で發病した尺草君は格別の修養もなく療養所に入り、僅かの期間の勉強で一人前の歌人となり、不幸な病勢は可なり重くなつてゐるが、歌道によつて精神までが修練され、従容として餘生を自然に託してゐる。美やましく感ぜられる。』

一三、六、一五

601 2F



## — 大 阪 厚 生 情 報 —

### 北市民病院建築に着手

大阪市では中産階級以下の醫療機關充實のため阿部野の市民病院の他に北、東、西の各市民病院の建設を計畫しすでに各病院約百萬圓の豫算も市會を通過、このほど北市民病院は此花區西野下之町西九條公園に北接して一千坪の敷地を決定、東市民病院は東成區大今里町神路區整合地區内二千坪、西市民病院は港區市岡元町四丁目通信局倉庫跡七百五十坪にそれぞれ

用地を得、建築に着手することとなり、そのトップを切る北市民病院の地鎮祭は六月三十日午前九時から行はれた

同敷地のうち五百餘坪は王子製紙の寄附を受けたもので本館は鐵筋コンクリート造四階建、一部地階付延千六百餘坪、別棟で木造二階建延二百七十坪の看護婦寄宿舎ができる  
鐵鋼使用制限の折からかかる大建築の許可されたのは専ら國民體位向上に力を注ぐ厚生省の肝煎りに

よるもの、建築は窓を極度に廣くつて通風採光に申分なく各都市の代表的病院諸設備の粹をとつて新しいだけに模範的機能を誇り病床百九十床、うち三分の二は無料ベッドとする

診療科目は内科、外科、産婦人科、小兒科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、レントゲン科の八科を備へ堂々たる綜合病院  
來年六月中旬竣工の豫定である  
**濟生會今宮病院改築工事竣工**

### 國營職業・労働紹介所

労働調整と國民登録といふ非常時らしい使命をおびて、全國の職業労働各紹介所が七月一日から「國營」へと、はな／＼しいスタートを切つた、大阪府ではこれまでの市立中央職業紹介所がそのまま大阪職業紹介所となり、これに天六分室と天王寺、九條、西野田、小橋、布施の五出張所が配備され、このほか府下を管轄する堺、岸和

改築工事中であつた恩賜濟生會今宮病院の本館はこのほど竣工、從來の病床五十が倍の百床となつて七月初めからデビューした  
木造二階瓦葺、延坪六八八平方米で、階下は内外科診察室、藥局、院長室、醫員室等に分れ階上は病室に當てられ、建築費三萬五千圓設備費一萬五千圓である

田の兩紹介所が獨立して、門出を祝ふ國旗のもとに新しい看板をかかげた、労働紹介所の方もこれまでの京橋が大阪労働紹介所となり、西成、千鳥橋、築港、淡路、今里の各労働紹介所とともに國營の仕事を開始した

職業・労働紹介所一覽

大阪職業紹介所 大阪市西區阿波堀通一丁目五一、電話新町自四五〇〇至四五〇三(管轄區域大阪、布施、豊中市及び中河内北河内、三島、豊能各郡)
同 天王寺出張所 大阪市天王寺區下寺町四丁目三二、電話戎二六五〇、五九五〇(住吉、天王寺、西成、浪速各區)
同 九條出張所 大阪市港區九條南通一丁目一四〇、電話西一九〇、四八二(港、大正兩區)
同 西野田出張所 大阪市此花區玉川町四丁目六〇、電話土佐堀

四四二〇(西淀川、此花兩區)
同 小橋出張所 大阪市東區小橋東ノ町四二、電話南三〇一、五六七〇(東成區、東區の中市電上町線以東)
同 布施出張所 布施市荒川四九五〇、電話布施六六五(布施市、中河内郡)
大阪労働紹介所 大阪市東區京橋前之町一、電話東四七九、五〇九
西成労働紹介所 大阪市西成區旭南通、電話櫻川六九〇
千鳥橋労働紹介所 大阪市此花區四貫島元宮町、電話土佐堀五〇四〇
築港労働紹介所 大阪市港區南海岸通一丁目三、電話築港一二〇
淡路労働紹介所 大阪市東淀川區國次町三四一、電話北四三三八〇
今里労働紹介所 大阪市東成區片江町二九七、電話南四三三〇

軍需勞務の關西プロツク會議

國立職業紹介制度が實施されてからの計畫として軍需勞務關西プロツク會議が厚生省主催で七月二十三日午前九時から大阪偕行社でひらかれた
本省から熊谷職業部長、石井監理課長、中田事務官、各府縣側から大阪、京都の二府、和歌山、奈良、三重、福井、滋賀、岐阜、愛知、徳島、香川、高知、愛媛、岡山、鳥取、島根、兵庫の十五縣から職業課長(又は社會課長)國立職業紹介所長ら約百二十名が參集、國立職業紹介所の運用に關し熊谷職業部長より訓示があつたのち、本省の指示事項に基き
(一)軍需勞務の充足(二)歸郷軍人また傷痍軍人の職業輔導(三)物資動員に伴ふ失業者救済對策

市中央部兒童の體力調へ

國民體力管理制度の準備調査として東京、大阪はじめ二府六縣にわたつて一齊に行はれる國民體力調査につき府衛生課では七月十五日午前九時から府廳六階會議室で府市ならびに關係者の打合せ會議を開催
高木府衛生課長、藤原市保健部長はじめ關係衛生組合長、小學校長、警察署長、區役所主任らが出席
調査實施の具體的方法が決定されたので十八日から八月十三日まで府市協力のもとに劃期的な體力調査が産業都を代表する船場の坊ちゃん、讓ちゃんら約四千名について行はれることとなつた

被檢者は東西兩區域内の居住約三萬人中一才、二才、四才、八才、十二才、十九才の七種の男女約四千名で、調査結果は府衛生課で取纏めたのもち八月十五日までに厚生省へ報告することになつてゐる、その調査結果こそあらゆる意味から健康大阪建設の重要な資料となるばかりでなく、京都はじめ六縣と比較してわが大阪青少年、乳幼児の體力水準がどの程度のものであるかを示すもので期待されたい

心身悩みの兒童に「厚生學園」

具體的調査に着手

大阪市三十七萬學童中には心身の缺陷がもとで教室の隅に殆ど忘れられた形の不遇兒がざつと一萬五千におよぶことが田村日吉小學校長の過去二十年間の調査で明らかとなり市では文部、厚生兩省と打合

せた結果、東大醫學部教授三宅鑽博士、文部省囑託鈴木治太郎氏らの指導援助でわが國最初の厚生學園建設の計畫を進めることとなり、このほどから奉仕教員五十名の協力で具體的な一齊調査に着手した

計畫案ではまづ市内適當の地に中樞的な厚生學園を建てこれには通學可能で相當重い程度に精神缺陷兒と不良兒童百名づつを收容し、輕度ものは五校に一校くらの割合で特別學級を附設一學級二十名として千名を容れ最も重いものは郊外に教師と起居をともにする家族的な特別住宅十戸を一プロツクとする作業園藝本位の特別學園十プロツクを作りこれに約七百名を收容するはずである

なほこの資料調査は全市小學校の報告を中心にとりまとめがこの蒐集整理には五十名の小學教員が

夏休みを棒にふつて手辨當で奉仕することになつてゐる

社會事業法講習會

中央社會事業協會 並本聯盟共同主催

多年の懸案であつた社會事業法が愈よ七月一日から實施されることとなつたので、同法の趣旨の徹底を圖り適正圓滑な運用に資するため中央社會事業協會並に本聯盟では厚生省後援の下に七月二十六日大阪府社會事業會館大講堂に於て社會事業法に關する講習會を開催した、集まつたのは京都、大阪二府及び兵庫、滋賀、奈良、和歌山四縣に於ける府縣、公共團體の當該事務擔當者等で、午前九時開會一同宮城遙拜、事變戰役將士の靈に默禱を捧げた後中央社會事業協會理事長赤木朝治氏及び本聯盟理事長池田府知事(代理大谷社會課長)の各挨拶あり、終つて社會事

業法立案に主として參畫された當日の講師である厚生省保護課長尾弘吉氏は

本邦社會事業は從來個人の創意によつて行はれ漸次發達を遂げ



つゝあるが、現下の社會經濟事情の下に於けるその役割の重要性を考へるとき更に一層の擴充を要するものがある、即ち新に法制を設けてこれに對する助成

七日からは機械講習をなすこととなつた、主なる科目および講師左の通り

▽ライト・ハウス館長 岩橋武夫  
 「盲ノ職業ト修養」▽阪大醫學部附屬病院院長 長橋正道「物理療法ノ概念」▽醫學博士 耳繁「交換神經ニ就テ」▽京都醫科大學病院助手 谷田亭造「中風ト鍼灸マツサージ」▽兵庫縣立盲學校教諭 木下和三郎「灸法ノ學理的研究」△醫學博士 田村敏夫「醫學上ヨリ見タル肩ノ凝リ」▽金澤醫大 三谷復二郎氏來演、演題未定

**府下水害対策**

關東地方をはじめ遂には西日本各地を荒しまはつた先般の水魔の跳梁は大阪府下では三島郡玉島、三宅、玉櫛の三村、豊能郡東能勢、東郷、田尻、小曾根等の各村に相當の被害を與へ、中でも東能勢、東郷の兩村は倒壊家屋も出した、府社會課では慘報到るや救急物資

として玉島村へ毛布および筵各百枚、東能勢東郷村へは浴衣四百枚、毛布百九十枚などその他被害各町村へはそれ〴〵必要物資をおくつたが、罹災救助基金法による救助をなした町村は豊能郡東郷村、東能勢村、池田町、小曾根村、三島郡玉島村玉櫛村で、この中小曾根村池田町は炊事のみ止め、その他は生活扶助、醫療、小屋掛、就業費、學用品等給與の要ある見込なので七月十六日の府參事會に對し救助費三九、三三二圓を要求、救助の萬全を期しつつある

一方被害地に對する醫療班として衛生課では技師一名ほか二名で一班を、また濟生會では醫師四名、看護婦六名、調劑員三名、書記三名で、四班を組織して罹災地に急行醫療手當を施したほか衛生課防疫班では浸水家屋の井戸二千を消毒して防疫につとめた

**癩問題講演會**

關西救癩協會主催の癩問題講演會は七月二十六日午後六時半から大阪朝日會館公演場において開かれ府衛生課長高木乙熊博士の挨拶阪大附屬醫院院長佐谷有吉博士の講演「癩の傳染性について」があつた

**本號寄稿者**

▼藤田進一郎氏 大阪朝日新聞社論說委員 岩橋武夫氏 大阪盲人協會會長 鮎澤巖氏 國際勞動事務局東京支局長 早崎八洲氏 社會事業研究所研究員 和田傳五郎氏 大阪毎日新聞記者 池川清氏 大阪市觀光課 矢内正一氏 大阪西區役所庶務課 秋山三喜雄氏 弘濟會四貫島保育所長 內田守人氏 長島愛生園醫官 山本高雄氏 厚生省社會局屬 郡昇作氏 大阪市立今宮保護所主任 菅濟治氏 岡山縣成德學校校長 石井秀雄氏 西野田第二方面委員事務所 小澤伴藏氏 大阪市立豊崎勤勞學校長

**社會事業研究**

(毎月一回一日發行)

定一部 金五拾錢 廣告料  
 半ヶ年金參圓  
 價壹ヶ年金五圓 金貳拾圓均一

(大正二年八月二十七日)  
 (第三種郵便物認可)  
 昭和十三年八月一日發行  
 (毎月二十八日納本)

編輯兼 發行所 津 守 陸 太郎  
 大阪府住吉區橋本町二番地  
 大阪府北區濱崎町一八番地  
 印刷所 大阪出版堂  
 大阪府北區濱崎町一八番地  
 電話 北五五一五番 北七四二番

發行所 大阪府社會事業會館內  
 大阪府社會事業聯盟  
 (電話)天王寺 六三七五番 七八六二番  
 橋本口 大阪 二六〇八番

**大阪西淀川郵便局私書函第貳號**

大阪市西淀川區佃町

- 營業課目**
- 鑛山機械一式
  - 製鍊機械及製鍊設備一式
  - セメント製造機械一式
  - 化學機械一式
  - 水壓機械一式
  - ボイント及クロツシング
  - 普通鑄鋼品
  - 特殊鑄鋼品
  - 鋼塊及鋼材



**株式會社 保坂製鋼所**

電話福島(45) 四四四 四四四 四五五 四五五 四八一 四八一 四七九 四七九 四四四 四四四

振替大阪 一五一 一五一 四八二 四八二 番番

東京支店 東京市神田區鍛冶町一丁目六番地  
 電話神田(25) 五八九 五八九  
 名古屋營業所 名古屋市熱田區新田東組乙一、九番  
 電話南(29) 五五四 五五四

社會事業研究 八月號目次

社會變動と社會施設……………藤田進一郎……………一

失明軍人とその社會問題……………岩橋武夫……………七

傷痍軍人の強制雇傭問題……………鮎澤巖……………二六

晝間保育事業と保健……………早崎八洲……………三

スラム淨化の一二考……………和田傳五郎……………元

日本社會政策の概念……………池川清……………三三

『綴方教室』斷想……………矢内正一……………三五

農 村 夜 話……………笹 堂……………五五

新しき町會と舊き町會……………秋山三喜雄……………五九



瀨盲人の生活と其の文藝作品……………内田守人……………六九

消費生活改善策片々……………山本高雄……………七六

ルンペン 雜考(續)……………郡 昇作……………九〇

少年 教 護 體 驗……………菅 濟治……………九四

放課後の兒童は何れに行く?……………石井秀男……………九六

子供の勤勞生活……………小澤伴藏……………九九

大阪厚生會報

北市民病院建築に着手……………一〇九

濟生會今宮病院改築工事竣工……………一〇九

國營職業・勞働紹介所……………一〇九

軍需勞務の關西プロック會議……………一一〇

市中央部兒童の體力調べ……………一一〇

心身悩みの兒童に「厚生學園」……………一一二

社會事業法講習會……………一一二

社會事業研究會七月定例會……………一一三

關西私設社會事業者懇談會……………一二三

水禍の兵庫縣救授狀況……………一二三

宿泊保護事業協議會……………一二五

七月定例方面常務委員聯合會……………一二五

盲人厚生夏期講習會……………一二五

府下水害對策……………一二六

癩問題講演會……………一二六